

沖縄地方の天候

2021年5月と春（3月～5月）

令和3年6月1日 沖縄気象台

【 5月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）	9
生物季節観測表	10

【 春 】

春の天候	11
春の大気の流れ	12
沖縄地方の春（3月～5月）	
の平均気温と降水量の経年変化	13

※本報告は6月1日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天候経過（月のまとめ）

【5月】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり大雨となった所があった。

平均気温は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年差は+1.9 とかなり高く、統計を開始した1946年以降、5月としては最も高い値となった。月平均気温は石垣島で27.9 を観測するなど複数の地点で月平均気温の高い方からの5月としての極値を更新した。降水量は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を下回り、地域平均平年比は56%と少なかった。日照時間は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年比は127%と多かった。

なお、沖縄地方は5月5日ごろに梅雨入りしたとみられる（ ）。平年より5日早く、昨年より11日早い梅雨入りとなった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 ()	平年差 ()	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	25.8	+1.6	++	163.5	67	0	150.3	109	+
名 護	25.4	+1.6	++	157.5	72	0	140.9	103	0
久米島	26.0	+1.8	++	226.5	87	0	142.4	105	0
南大東島	26.1	+2.0	++	141.5	64	-	230.6	135	+
宮古島	27.0	+2.0	++	74.0	33	-	197.5	132	+
石垣島	27.9	+2.0	++	111.5	58	-	244.0	149	++
西表島	27.8	+2.3	++	50.0	28	-	235.1	142	++
与那国島	27.6	+2.2	++	94.0	45	-	211.4	149	++
沖縄地方		+1.9	++		56	-		127	+

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、

-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

2. 「降水量」欄の 〃 は無降水を示す。

3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. "()"付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. "[]"付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. "X"は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。

8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

()速報値。気象予測をもとに行う梅雨入りの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行う。そこで検討した梅雨入りの確定値は、9月以降に気象庁ホームページや「2021年の沖縄地方の天候」(2022年1月発表)等において公表する。

天 候 経 過 (旬 別)

【5月上旬】

沖縄地方は梅雨前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、5日と9日は沖縄本島地方で、8日は宮古島地方で大雨となった所があった。8日は城辺で日最大1時間降水量75.5mmを観測し5月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量と日照時間は平年並だった。

	平均気温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.0	+0.5	0	78.5	137	+	41.5	95	0
名 護	23.4	+0.4	0	56.5	96	0	37.7	87	0
久 米 島	23.9	+0.4	0	150.0	242	+	37.9	88	0
南大東島	23.7	+0.3	0	12.0	30	-	60.1	97	0
宮 古 島	25.1	+0.8	+	13.5	22	-	44.3	97	0
石 垣 島	26.2	+1.0	+	19.0	41	0	66.7	137	+
西 表 島	26.0	+1.3	+	21.5	46	0	63.0	127	+
与那国島	25.9	+1.2	+	33.5	69	0	50.9	125	+
沖縄地方		+0.8	+		93	0		108	0

【5月中旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、統計を開始した1946年以降、5月中旬としては最も高い値を更新した。20日は下地島で32.4、伊是名で31.6を観測し日最高気温の高い方からの5月としての極値を更新した。降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

	平均気温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	27.1	+2.8	++	0.0	0	--	74.1	164	++
名 護	27.0	+3.2	++	0.0	0	--	69.0	152	+
久 米 島	27.5	+3.2	++	0.0	0	--	71.4	159	+
南大東島	27.0	+2.9	++	0.0	0	--	103.9	193	++
宮 古 島	27.8	+2.6	++	0.0	0	--	85.0	180	++
石 垣 島	28.5	+2.4	++	6.5	10	-	96.2	177	++
西 表 島	28.7	+3.1	++	0.5	1	-	95.3	174	++
与那国島	28.5	+3.0	++	0.0	0	--	95.0	199	++
沖縄地方		+2.9	++		2	--		172	++

【5月下旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた所もあったが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、

期間のはじめと終わりには大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、波照間で日最高気温34.0、南大東島で日最低気温27.5を観測するなど、24日、27日、28日は複数の地点で日最高気温又は日最低気温の高い方からの5月としての極値を更新した。

沖縄地方の降水量と日照時間は平年並だった。

	平均気温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	26.3	+1.5	+	85.0	87	0	34.7	70	-
名 護	25.9	+1.5	+	101.0	115	+	34.2	72	-
久 米 島	26.5	+1.7	++	76.5	71	0	33.1	69	-
南大東島	27.4	+2.8	++	129.5	109	0	66.6	121	+
宮 古 島	28.0	+2.3	++	60.5	68	0	68.2	121	+
石 垣 島	28.9	+2.3	++	86.0	109	+	81.1	133	+
西 表 島	28.6	+2.6	++	28.0	39	0	76.8	125	+
与那国島	28.2	+2.1	++	60.5	76	0	65.5	122	+
沖縄地方		+2.0	++		81	0		102	0

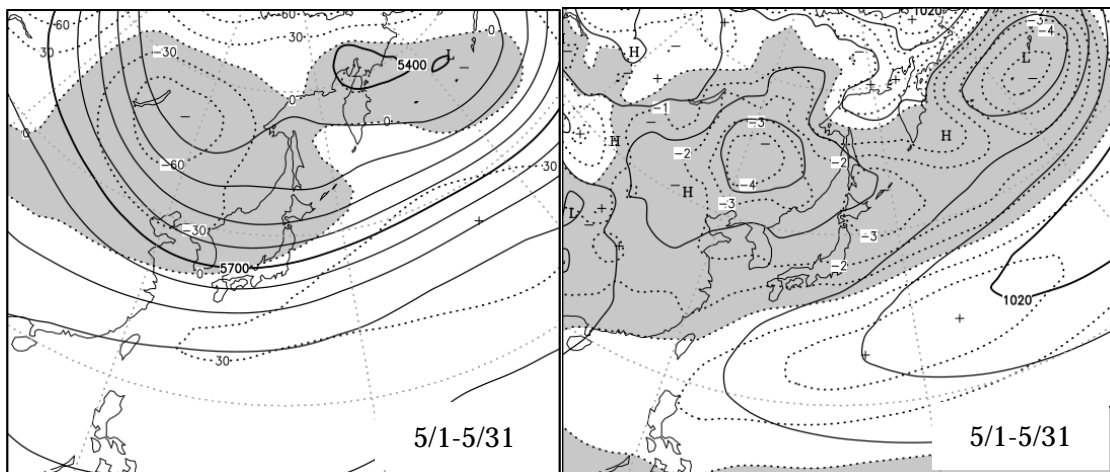
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2021年5月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本の東海上から本州の南海上を中心に平年より高い一方、モンゴル付近から華北にかけて低かった。沖縄付近は平年より高く太平洋高気圧の影響を受けやすかった。

平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より低い一方、日本の南海上は東西に平年より高く、沖縄付近は太平洋高気圧に覆われやすかったことを示している。

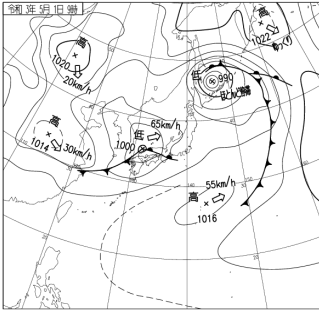


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

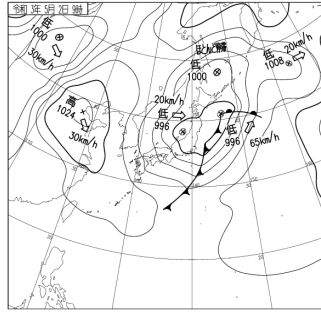
右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

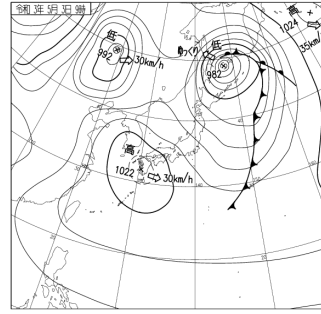
2021年5月1日～5月16日



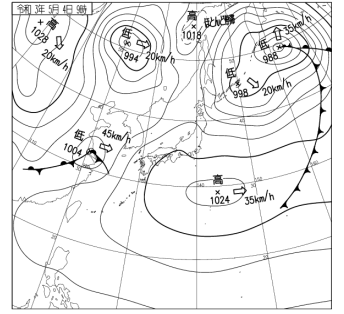
2021年5月1日
気圧の谷の影響を受ける。



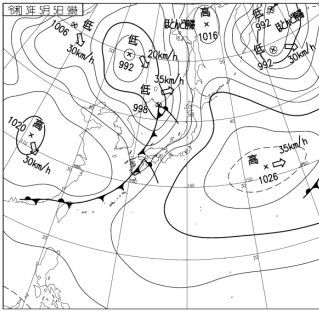
5月2日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



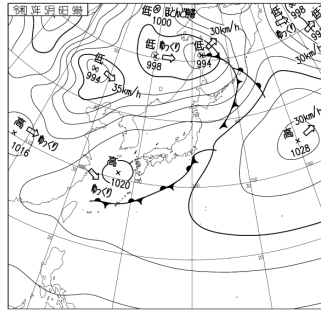
5月3日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は湿った空気の影響を受ける。



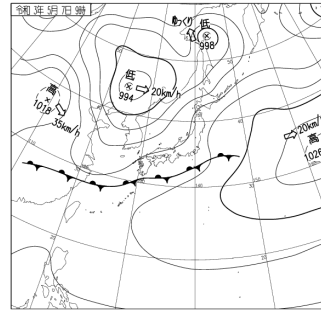
5月4日
沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



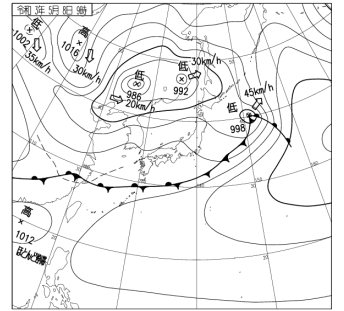
5月5日
梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



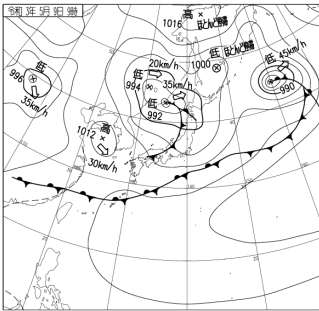
5月6日
梅雨前線の影響を受ける。



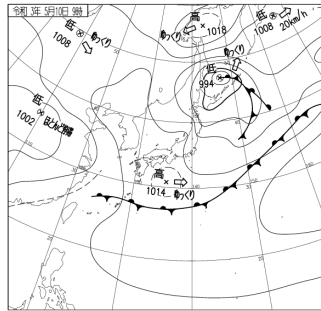
5月7日
沖縄本島地方と大東島地方は梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



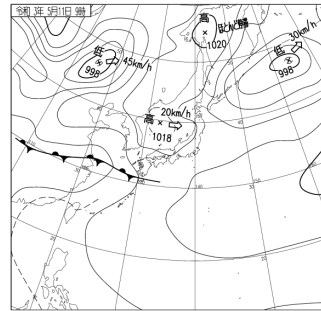
5月8日
梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



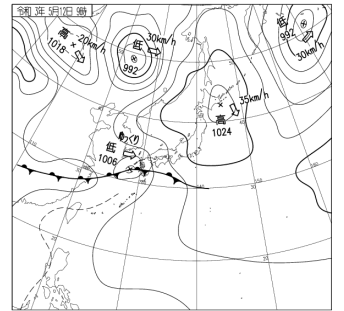
5月9日
梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



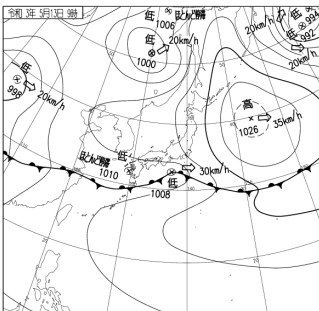
5月10日
梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



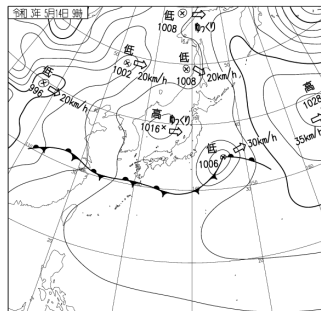
5月11日
沖縄本島地方は湿った空気の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



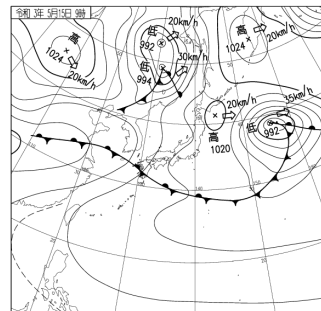
5月12日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は湿った空気の影響を受ける。



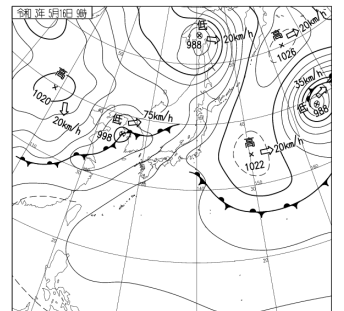
5月13日
高気圧に覆われる。



5月14日
高気圧に覆われる。



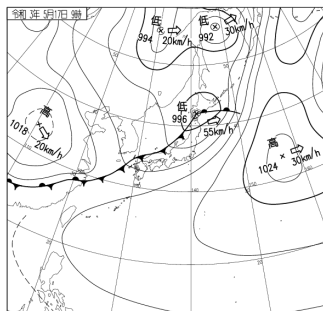
5月15日
高気圧に覆われる。



5月16日
高気圧に覆われる。

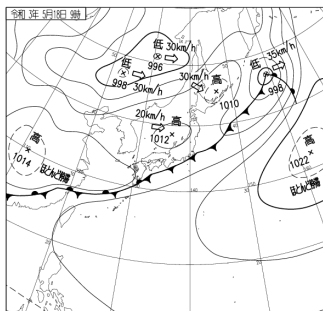
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2021年5月17日～5月31日



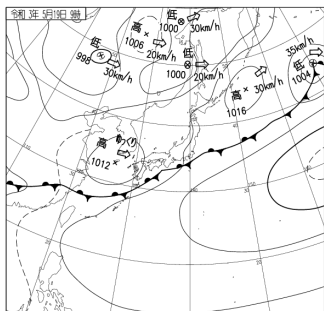
5月17日

高気圧に覆われる。



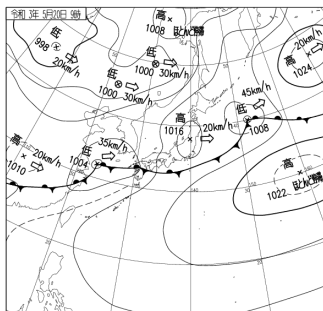
5月18日

高気圧に覆われる。



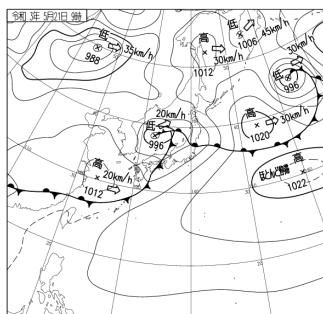
5月19日

沖縄本島地方は湿った空気の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



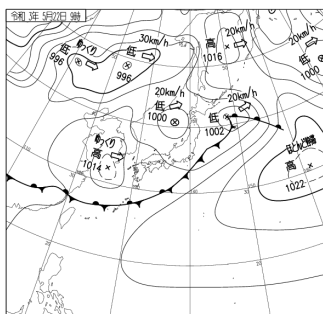
5月20日

高気圧に覆われる。



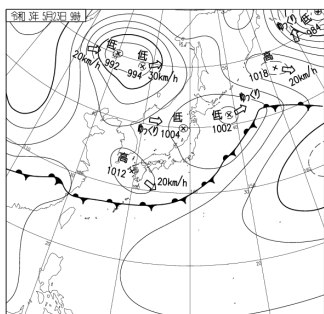
5月21日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



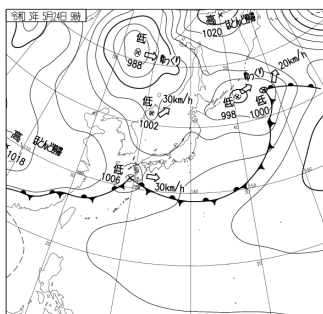
5月22日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



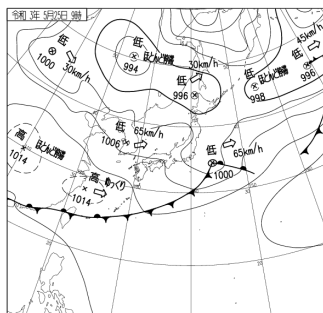
5月23日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



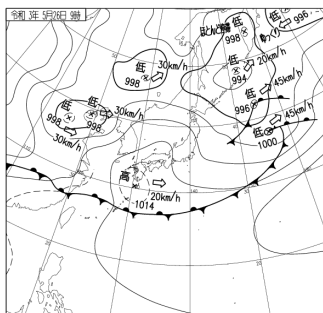
5月24日

沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



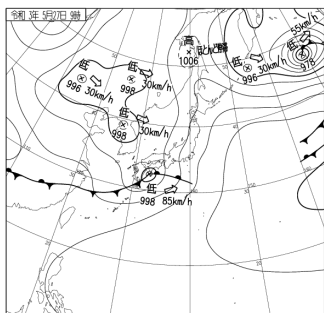
5月25日

沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は梅雨前線の活動が弱まる。



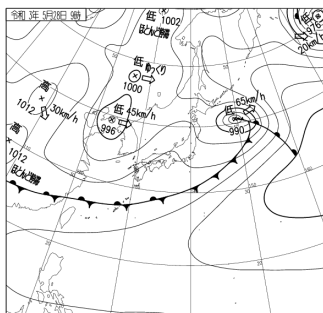
5月26日

沖縄本島地方と大東島地方は梅雨前線の活動が弱まる。先島諸島は高気圧に覆われる。



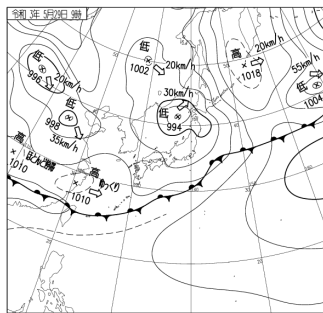
5月27日

沖縄本島地方は梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



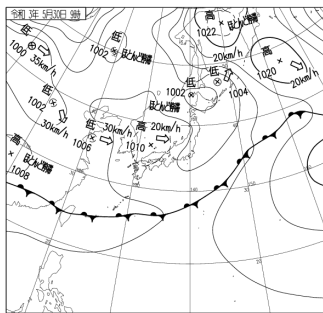
5月28日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



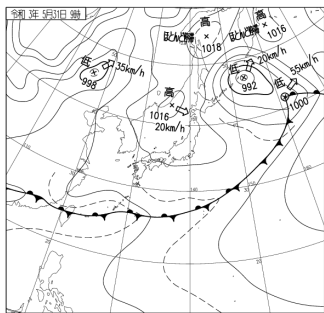
5月29日

梅雨前線の影響を受ける。



5月30日

梅雨前線の影響を受ける。

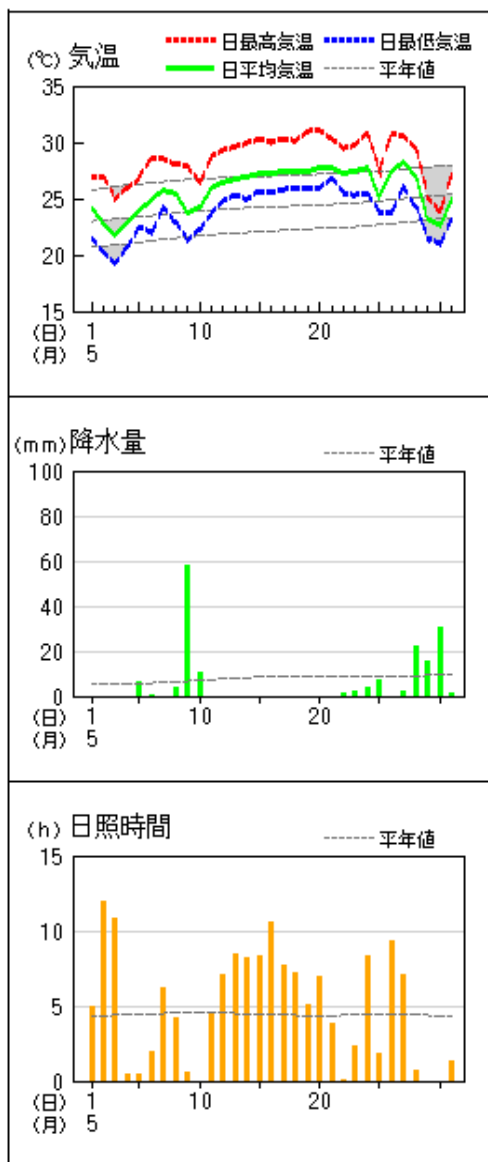


5月31日

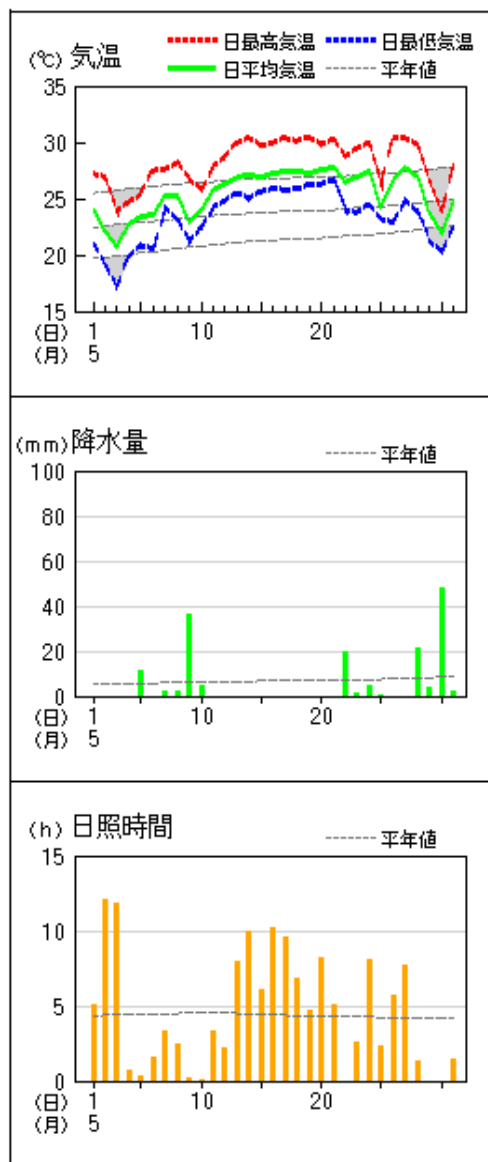
梅雨前線の影響を受ける。

地上気象 気象経過図：2021年05月01日-2021年05月31日

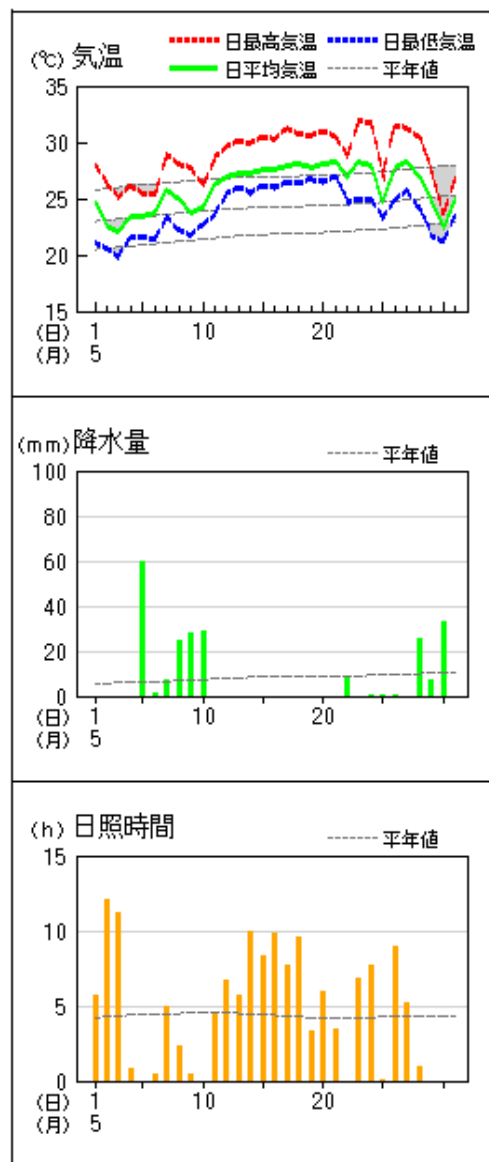
那覇



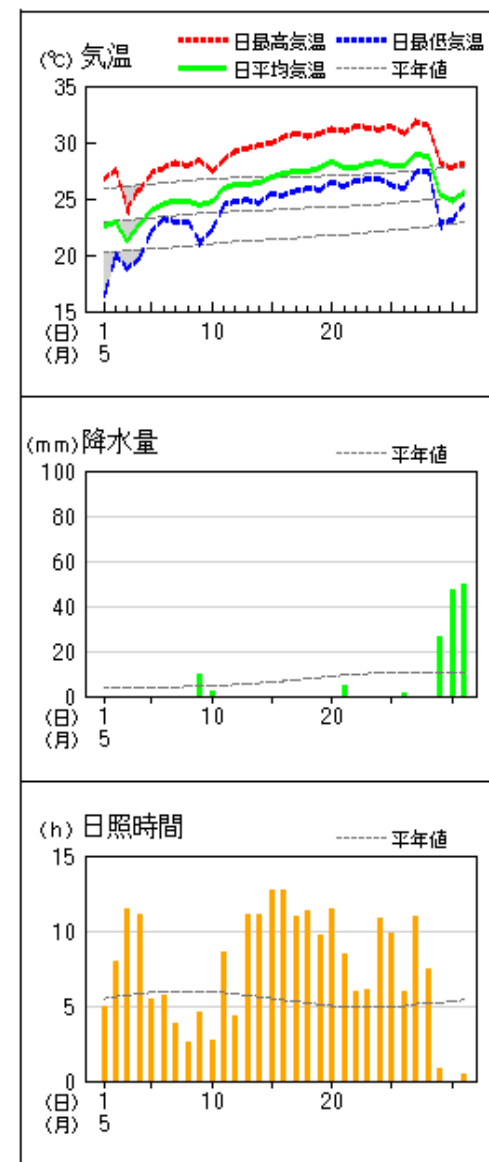
名護



久米島

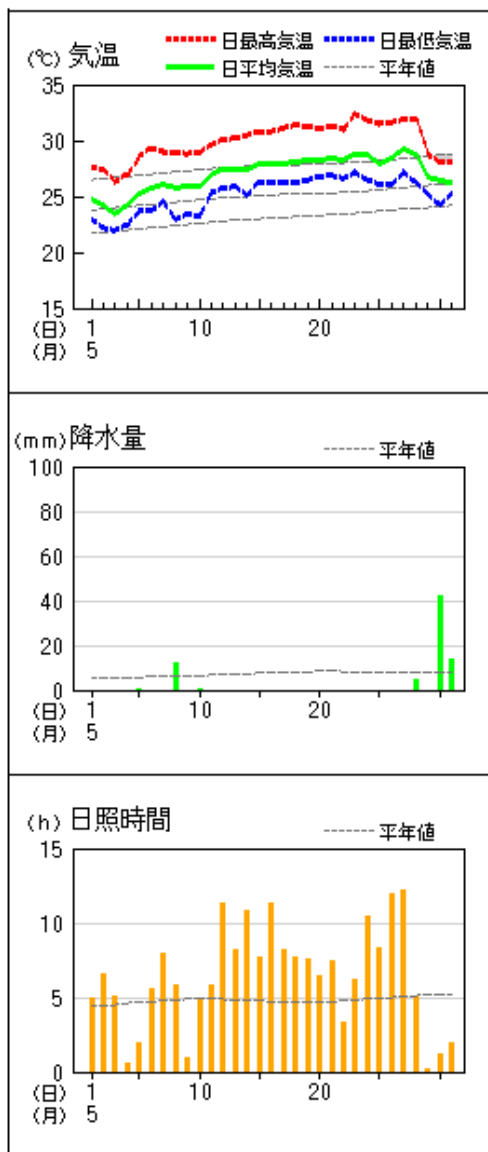


南大東 (南大東島)

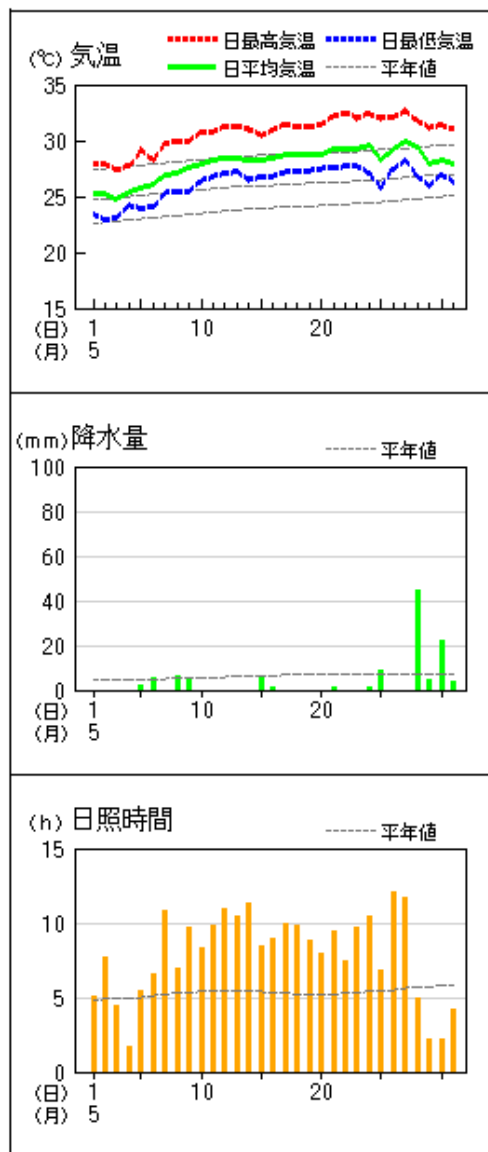


地上気象 気象経過図：2021年05月01日-2021年05月31日

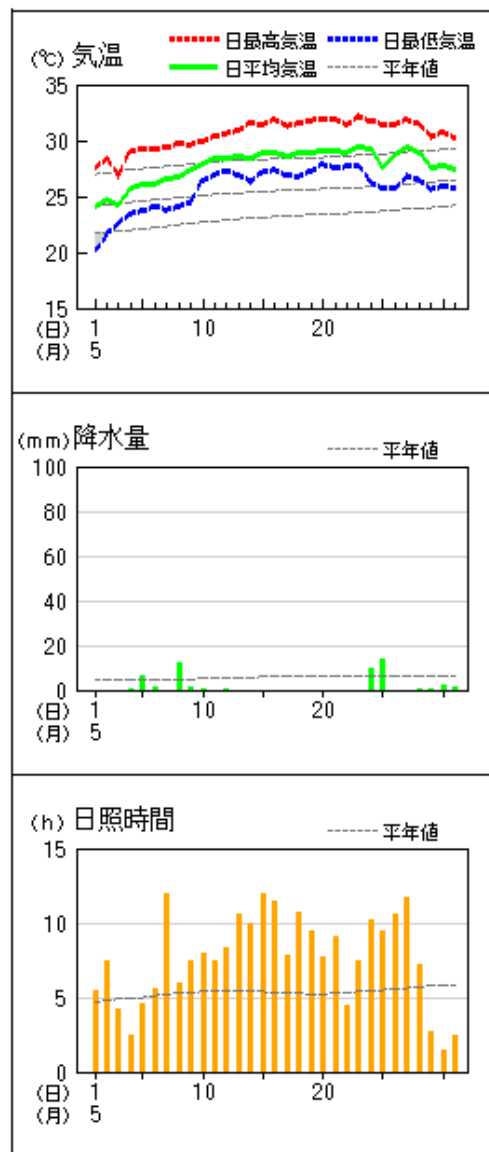
宮古島



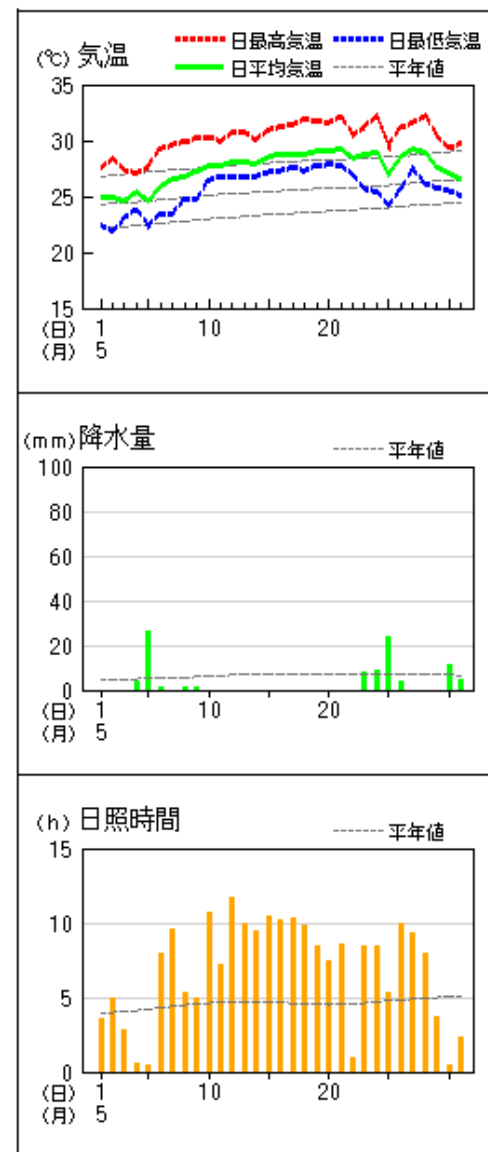
石垣島



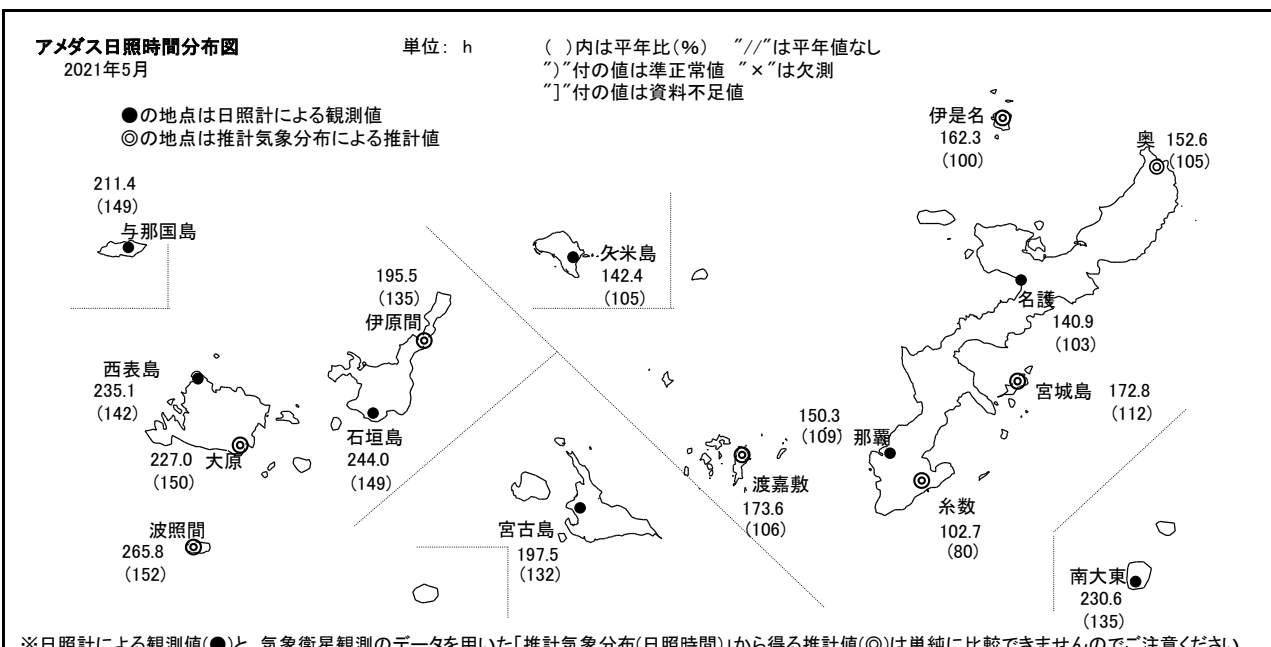
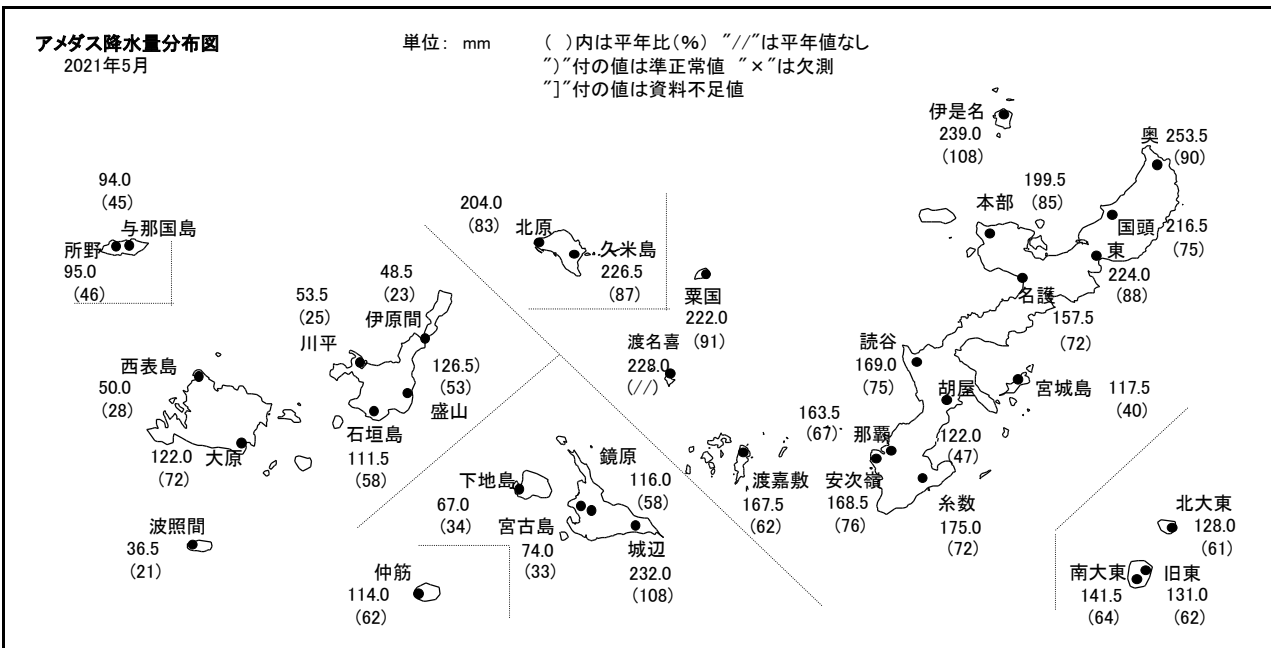
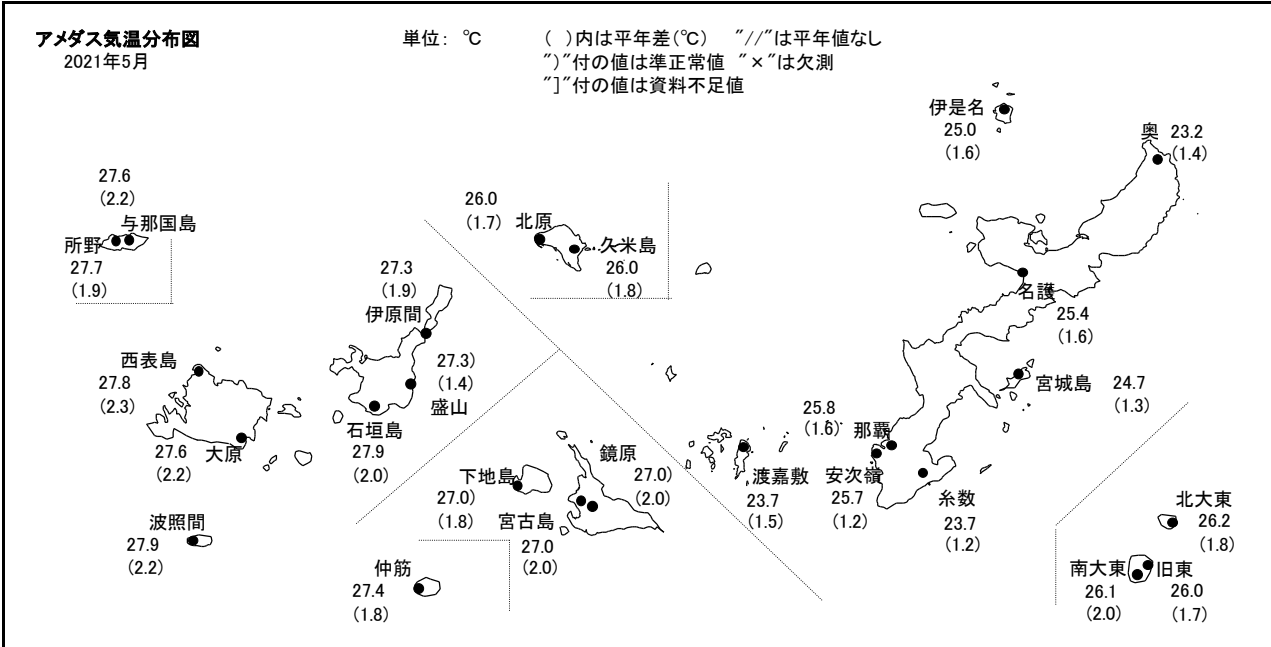
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



※日照計による観測値(●)と、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値(◎)は単純に比較できませんのでご注意ください。

・統計期間が短いため、平年値がない地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2021年5月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
南大東島	日最高気温の高い方から（℃）	31.9*	2021年5月27日	1	31.9	2004年5月17日
南大東島	日最低気温の高い方から（℃）	27.5	2021年5月28日	1	26.9	2016年5月29日
久米島	月平均気温の高い方から（℃）	26.0*	2021年5月	1	26.0	1998年5月
宮古島	月平均気温の高い方から（℃）	27.0	2021年5月	1	26.5	2016年5月
西表島	月平均気温の高い方から（℃）	27.8	2021年5月	1	27.4	1954年5月
石垣島	月平均気温の高い方から（℃）	27.9	2021年5月	1	27.4*	2016年5月
与那国島	月平均気温の高い方から（℃）	27.6	2021年5月	1	26.8*	2018年5月
那覇	月平均気温の高い方から（℃）	25.8	2021年5月	2	26.1	1998年5月
南大東島	月平均気温の高い方から（℃）	26.1	2021年5月	2	26.7	1998年5月
名護	月平均気温の高い方から（℃）	25.4	2021年5月	2	25.9	1998年5月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
城辺	日最大1時間降水量（mm）	75.5	2021年5月8日	1	65	1988年5月2日
伊是名	日最高気温の高い方から（℃）	31.6	2021年5月20日	1	31.4	2016年5月29日
伊原間	日最高気温の高い方から（℃）	33.5	2021年5月24日	1	33.1	2018年5月26日
波照間	日最高気温の高い方から（℃）	34.0	2021年5月24日	1	33.0	2018年5月31日
下地島	日最高気温の高い方から（℃）	32.6	2021年5月27日	1	32.0	2018年5月31日
鏡原	日最高気温の高い方から（℃）	33.2	2021年5月27日	1	32.5	2016年5月31日
北大東	日最高気温の高い方から（℃）	32.4	2021年5月28日	1	31.7	2018年5月31日
旧東	日最高気温の高い方から（℃）	32.3	2021年5月28日	1	32.1	2018年5月31日
北大東	日最低気温の高い方から（℃）	27.4	2021年5月28日	1	26.8	2016年5月29日
旧東	日最低気温の高い方から（℃）	27.2	2021年5月28日	1	26.9	2016年5月29日
鏡原	日最大10分間降水量（mm）	25.0	2021年5月30日	1	20.5	2015年5月3日
伊是名	月平均気温の高い方から（℃）	25.0*	2021年5月	1	25.0	1998年5月
北原	月平均気温の高い方から（℃）	26.0	2021年5月	1	25.7	2016年5月
安次嶺	月平均気温の高い方から（℃）	25.7*	2021年5月	1	25.7	2004年5月
北大東	月平均気温の高い方から（℃）	26.2	2021年5月	1	26.0	2016年5月
旧東	月平均気温の高い方から（℃）	26.0*	2021年5月	1	26.0	2016年5月
下地島	月平均気温の高い方から（℃）	27.0	2021年5月	1	26.7	2016年5月
鏡原	月平均気温の高い方から（℃）	27.0	2021年5月	1	26.4	2016年5月
仲筋	月平均気温の高い方から（℃）	27.4	2021年5月	1	27.0	2016年5月
伊原間	月平均気温の高い方から（℃）	27.3	2021年5月	1	26.8	2016年5月
所野	月平均気温の高い方から（℃）	27.7	2021年5月	1	27.0*	2018年5月
大原	月平均気温の高い方から（℃）	27.6	2021年5月	1	26.8	2004年5月
波照間	月平均気温の高い方から（℃）	27.9	2021年5月	1	27.0	2016年5月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点及び要素は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2021年5月

観測場所	種 別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
(1) 植物								
なし								

※平年値に関するお知らせ

気象庁では、2021（令和3）年5月19日から1991～2020年の観測値による新しい平年値の使用を開始しました。また、同日より沖縄地方の地域平均平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の7地点の平年差（比）の平均値に変更しました。

沖縄地方の天候でもこれらを「沖縄地方の天候（2021年5月と春（3月～5月）」（本資料）より使用しています。

春の天候

2021年3月～5月

天候経過

梅雨前線や湿った空気の影響を受けにくく、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
 平均気温は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年差は+1.2 とかなり高かった。降水量は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年差は58%とかなり少なかった。日照時間は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り地域平均平年比は128%とかなり多かった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

【2021年3月～5月】

	気温 ()	平年差 ()	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	22.8	+1.2	++	325.0	59	-	442.3	118	++
名護	22.3	+1.2	++	456.0	87	0	437.6	118	++
久米島	22.7	+1.1	++	454.0	70	--	438.6	121	+
南大東島	22.8	+1.1	++	386.0	92	0	595.9	125	++
宮古島	23.7	+1.2	++	195.0	38	--	507.5	131	++
石垣島	24.6	+1.2	++	261.0	55	-	558.1	135	++
西表島	24.2	+1.4	++	212.5	44	--	536.3	135	++
与那国島	24.2	+1.2	++	289.5	55	--	459.7	140	++
沖縄地方		+1.2	++		58	--		128	++

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++ : かなり高い(多い)、+ : 高い(多い)、0 : 平年並、

- : 低い(少ない)、-- : かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の " " は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. ") " 付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. "] " 付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. " X " は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

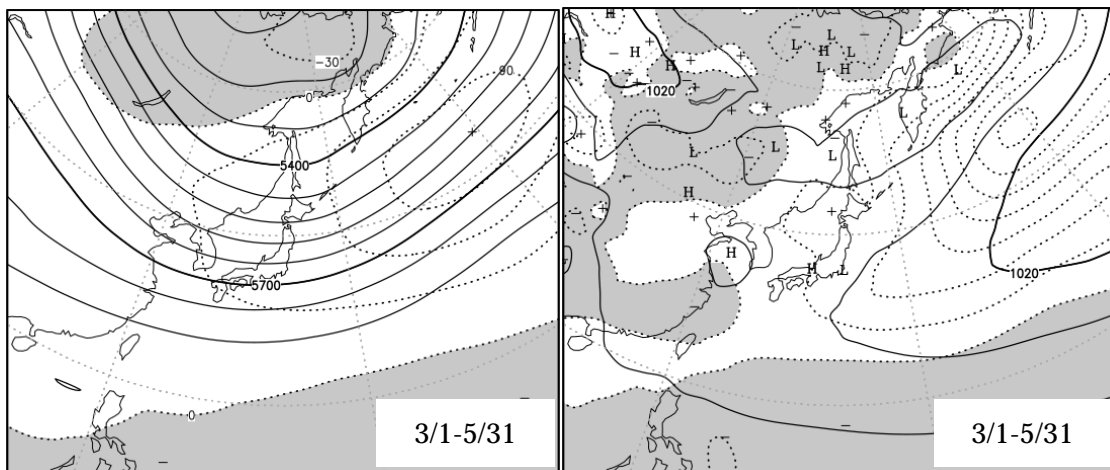
8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

春の大気の流れ

2021年3月～5月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近は東海上を中心とする平年より高い領域に広く覆われた一方、北極付近は平年より低い領域となっており、寒気が日本付近に流れ込みにくかったことを示している。

平均海面気圧（右図）は、日本付近から東海上で平年より高く、日本の南の低緯度帯では低かった。沖縄地方は南からの湿った空気の影響を受けにくかった。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2021年春（3月～5月）の平均気温の地域平均平年差は+1.20°Cであった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年あたり1.23°Cの割合で上昇している（図1）。

地域平均平年差は、沖縄地方においては那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年値（統計期間：1991～2020年）との差を平均したものである。

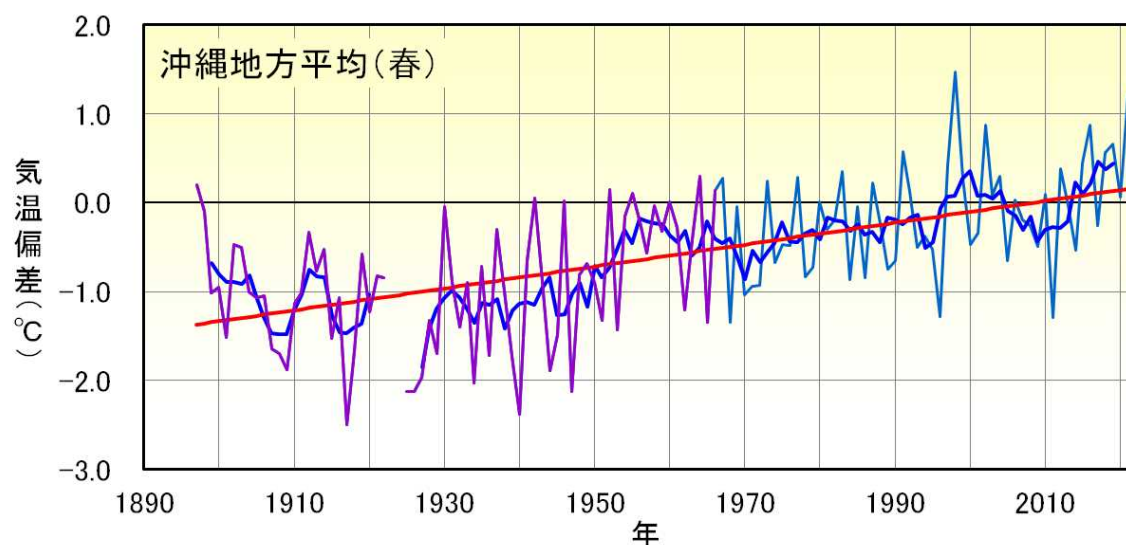


図1 沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化
[1897～2021年の125年間]

横軸は西暦〔年〕、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差〔°C〕を示す。
水色の折れ線グラフは7地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは7地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。
那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。
1923年、1924年は那覇観測値欠測。2018年は与那国島観測値欠測。

沖縄地方の 2021 年春（3 月～5 月）の降水量の地域平均平年差は-216.6mmであった。平均気温とは異なり、統計的に有意な長期変化傾向はみられない（図 2）。

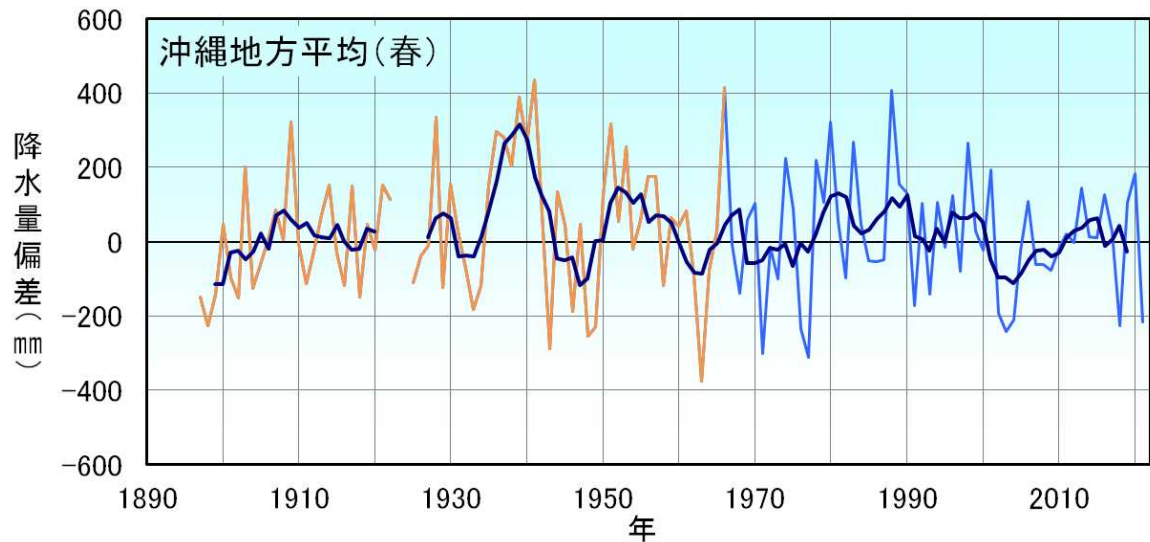


図 2 沖縄地方の春（3 月～5 月）の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897 年～2021 年の 125 年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差 [mm] を示す。
水色の折れ線グラフは 7 地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは 7 地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の 5 年移動平均値。
1923 年、1924 年は那覇観測値欠測。2018 年は与那国島観測値欠測。

【注】

- この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の 7 地点の平年値との差から算出している。これらの 7 地点のうち 2 地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は 1897 年となる。
- 平年値の統計期間は 1991～2020 年の 30 年間である。
- 沖縄地方の平均気温については、長期的なトレンドを評価するため、小数第 2 位まで求めている。